

烏谷山1076.5m・山行記

2021年6月3日

「山行日 4月19日(月)」

- 行き先 比良比叡トレイル・ルート④烏谷山(からとやま)
- コース：JR志賀駅～荒川～荒川峠～烏谷山～木戸峠～打見山～志賀駅
- 移動手段：JR、ロープウェイ(1,700円)、バス(390円)
- 参加者：会員3名、一般1名

2013年に逆コースを歩いているが、烏谷山のことはすっかり忘れていた。2019年9月、ある人から比良比叡トレイル・ルートを整備(看板設置)間近であると、教えてもらった。今回、シャクナゲを目当てに登ることとした。

志賀駅から荒川を目指した。登山口までは、アスファルト道を約1時間歩くこととなる。この1時間の行程を「新緑を楽しめるか」、「うんざりするか」は本人次第である。私は柔らかい新緑を好ましく感じたが、同行者は登山口までどんどん歩いて行ってしまった。登山口までは迷う心配はない。息があがらないようにマイペースで歩いた。

荒川峠のコースは、シロモジの花が至るところに咲いている。新緑に溶け込むような淡い色彩である。「美しい」と小さく歓声あげる。自然林に囲まれ、比良山系の標高を感じ、「山に登っている」という満足感が広がってゆく。

この時期にシャクナゲが咲いているかどうか心配したが、ピンク・白のホンシャクナゲたちが出迎えてくれた。シャクナゲのトンネルはないが、あそこにも、ここにも咲き誇っている。つぼみもある。来週もシャクナゲが楽しめそう。他には、タムシバ・ムシカリ・イワカガミ・ショウジョウバカマ・キンキマメザクラの花々、コゲラにも出会いラッキー。春を満喫させてもらった。

比良比叡トレイル協議会の方々が看板をひもで縛っていたが、殆ど外れてしまっている。それでも、ロングトレイルという魅力がある。単独行の若者や琵琶湖バレイを訪れる観光客でにぎわっている。「地域を元気する」ことに役立っているようだ。来年はキバナシャクナゲに会いに行こう！！ KUSUMI

